

学習案内

シラバス

第6学年



鴻巣市立馬室小学校

6年生「国語」

【第6学年の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

| 月 | 主に学習すること | 主な学習のねらい |
|----|--|--|
| 4 | 聞いて、考えを深めよう | ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようになります。 |
| 5 | 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 【情報】主張と事例 | ◎事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるようにします。 |
| 6 | 私たちにできること | ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようになります。 |
| 7 | 私と本 森へ | ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができるようになります。 |
| 9 | やまなし 【資料】イーハトーヴの夢 | ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようになります。 |
| 10 | みんなで楽しく過ごすために 【コラム】伝えにくいことを伝える | ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができるようになります。 |
| 11 | 『鳥獣戯画』を読む 【情報】調べた情報の用い方 日本文化を発信しよう | ◎引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようになります。 |
| 12 | 大切にしたい言葉 | ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようになります。 |
| 1 | メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために 【資料】プログラミングで未来を創る | ◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようになります。 |
| 2 | 思い出を言葉に | ◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができるようになります。 |
| 3 | 海の命 | ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようになります。 |

【評価について】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分思いや考えを広げている。
- (3) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆音読カードを使い、声に出して読む学習を高めています。
- ◆ドリルやプリント、ワークシートを使い、文字を正しく書けるように繰り返し練習します。
- ◆読書タイムや読書週間に、読み聞かせのボランティアの方に協力をいただき、読書を奨励しています。
- ◆漢字が習得できるように、10問ずつの漢字ショートテストや学期ごとに漢字テストを実施しています。
- ◆総合的な学習と結びつけて、「目的や意図に応じて」書くようにしています。

6年生「社会」

【第6学年の目標】

- (1) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

| 月 | 学習すること | 学習のねらい |
|--------------------------|---|--|
| 4 5 6 | 1. わたしたちの生活と政治 わたしたちのくらしと日本国憲法 国の政治のしくみと選挙 子育て支援の願いを実現する政治（選択） 2. 日本の歴史 縄文のむらから古墳のくにへ 天皇中心の国づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が定める国家や国民生活の基本について理解し、民主政治の発展に関心をもつようになります。 ・地方公共団体や政治の働きを理解し、政治の働きに関心をもてるようにします。 ・米づくりが始まったころの様子や、大和朝廷による統一などがわかるようになります。 ・天皇を中心とした政治が確立したことや日本風の文化が起こったことがわかるようになります。 |
| 7 9 10 11 12 | 貴族のくらし 武士の世の中へ 今に伝わる室町文化 戦国の世から天下統一へ 江戸幕府と政治の安定 町人の文化と新しい学問 明治の国づくりを進めた人々 世界に歩み出した日本 | <ul style="list-style-type: none"> ・武士による政治が始まって新たな時代を迎えたこと、室町文化が武士や民衆の中から生まれ、今も多くの人々に親しまれていることがわかるようになります。 ・織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将を中心に戦乱の世の中が統一されていったようすがわかるようになります。 ・戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことがわかるようになります。 ・町人の文化が栄え新しい文化が起こったことがわかるようになります。 ・明治維新をつくりあげた人々の働きを中心に、日本が近代化を進め、国力が充実するとともに国際的な地位が向上したことがとらえられるようになります。 |
| 3 | 長く続いた戦争と人々のくらし 新しい日本、平和な日本へ 3. 世界の中の日本 日本とつながりの深い国々 世界の未来と日本の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・満州事変・日中戦争から第二次世界大戦、敗戦による国民の大きな被害、戦場になった地域に与えた損害をとらえられるようになります。 ・民主的な国家としての出発、国民生活の向上、国際社会の中での役割をとらえられるようになります。 ・外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解しあうことを考えるようになります。 ・国際交流や国際協調の様子及び国際連合の働きを調べ、世界平和の中での日本の役割について考えるようになります。 |

【評価について】

- (1) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解し、資料を通して、情報を適切に調べまとめている。
- (2) 我が国の政治と歴史及び国際理解について多角的に考えたり、課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- (3) 我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情をもち平和を願う世界の国々の人々と共に生きることを大切に国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆NHKの教育番組やインターネット使い広く情報を集めます。
- ◆工場見学などを行い、見聞や体験による学習内容の定着を図ります。
- ◆地図や年表などの活用や目的に応じた表現力を育てます。

6年生「算数」

【第6学年の目標】

- (1) 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習内容】

| 月 | 学習すること | 学習のねらい |
|----|----------------|--|
| 4 | 1. 対称な図形 | ○対称な図形の観察や構成を通して、その意味や性質を理解し、図形に対する感覚を豊かにします。 |
| 5 | 2. 文字と式 | ○具体的な場面について、数量の関係を文字を用いて式で一般的に表したり、文字を用いた式から数量の関係を読み取って具体的な場面に表したりすることを通して、式を活用する能力を伸ばします。 |
| 6 | 3. 分数のかけ算 | ○乗数が分数の場合の、乗法の意味や計算の仕方、乗法の性質や計算法則が成り立つことを理解し、それらを用いる能力を伸ばします。 |
| | 4. 分数のわり算 | ○除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばします。 |
| 7 | 5. 比 | ○2つの数量の割合を表す方法として、比について理解し、生活や学習で活用する能力を伸ばします。 |
| 9 | 6. 拡大図と縮図 | ○拡大図や縮図の観察やかくことを通して、拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形の理解を深め、図形に対する感覚を豊かにします。 |
| | 7. 円の面積 | ○円の面積について求め方を理解し、計算によって求めることができるようにします。 |
| 10 | 8. 角柱と円柱の体積 | ○角柱や円柱の体積の求め方を理解し、計算によって求めることができるようにするとともに、それらの図形についての理解を深めます。 |
| | 9. およその面積と体積 | ○身の回りにあるものの形について、その概形をとらえ、およその面積を求めることができるようにするとともに、目的に応じて能率よく測定する能力を伸ばします。 |
| 11 | 10. 比例と反比例 | ○比例の関係を文字 x, y を使って式に表します。比例・反比例のグラフの理解を深めます。 |
| 12 | 11. 並べ方と組み合わせ方 | ○起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法を考えます。 |
| | 12. データの調べ方 | ○代表値や最頻値、中央値の求め方、柱状グラフを読んだり、かいたりすることを学びます。 |
| 1 | 13. 算数の仕上げ | ○小学校の学習内容の復習をします。 |
| 2 | | |
| 3 | 算数卒業旅行 | |

【評価について】

(1) 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解している。また、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。

(2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを身に付けている。

(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆少人数指導や IT 指導で学習を進めていきます。(算数科を中心として)
- ◆基礎基本が確実に身につくよう、教科書だけでなく、ドリル学習や問題プリントを使った学習も進めていきます。
- ◆実際に測ったり調べたりする体験活動や具体的なものを使って調べる活動などをたくさん取り入れた学習を進めていきます。
- ◆既習事項を基にして自力解決の時間を設けます。また、自分の考えをノートにまとめたり、グループ、全体の中でお互いの考えを発表しあいます。

6年生「理科」

【第6学年の目標】

- (1) 単元の学習内容について理解しているとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 単元の内容について追究する中で、それらの仕組みや性質、規則性及び働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。
- (3) 単元の内容について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【評価について】

(1) 自然の事物・現象についての性質や規則性などについて理解しているとともに、観察・実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。

(2) 自然の事物・現象について、問題を見出し、予想や仮説をもとに、解決の方法を発想し、観察、実験などを行い、それらの仕組みや性質、規則性、はたらき、関わり、変化及び関係について、より妥当な考えを作り出し、それらを表現するなどして問題解決している。

(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを生活に活かそうとしている。

【学習の特色や工夫】

◆生物の体のつくりとはたらき、生物と環境とのかかわりでは、生命を尊重する心を育てます。

◆自然の事ごらの仕組みや性質、規則性などに気づきながら、学習を進めていくために、問題解決の力がポイントとなります。自分の考えを表現することが大切な要素となります。

◆電気の利用やてこの単元では、実際にものに触れながら、学習を進めていきます。現象を体験しながら、実感のともなった理解ができるようになります。

| | | | |
|---------|-----------------------|--------------------------|--|
| 1 学期 | 4 ～ 5 | ○ 生命のふるさと 1 ものの燃え方と空気 | 燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、物が燃えるときの空気の質的变化についての理解や実験に関する技能を身に付け、燃焼の仕組みについて見方や考え方を養います。 |
| | 5 ～ 6 | 2 人や他の動物の体 | 人や他の動物について、体のつくりとはたらきに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、呼吸、消化・排出、循環などについての理解や実験・調べ活動に関する技能を身に付け、人や他の動物の体のつくりとはたらきについて見方や考え方を養います。 |
| | 6 ～ 7 | 3 植物の体 | 植物について、その体のつくりとはたらきに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、植物の体内における水の行方や養分のつくり方などについての理解や実験に関する技能を身に付け、植物の体のつくりとはたらきについて見方や考え方を養います。 |
| 2 学期 | 9 | 4 生き物と食べ物・空気・水 | 生き物と環境について、生き物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生き物と食べ物・空気・水との関わりについての理解や観察・調べ活動に関する技能を身に付け、生き物と環境について見方や考え方を養います。 |
| | 9 ～ 1 0 | 5 てこ | てこの規則性について、力を加える位置や大きさに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、てこがつかう規則性やてこを利用した道具についての理解や実験に関する技能を身に付け、てこの規則性について見方や考え方を養います。 |
| | 1 0 ～ 1 1 | 6 土地のつくり | 土地のつくりと変化について、土地の構成物やでき方などに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、地層のつくりや成因、土地の変化についての理解や観察・実験などに関する技能を身に付け、土地のつくりと変化について見方や考え方を養います。 |
| | 1 1 | ○ 地震や火山と災害 | 地震や火山活動による災害について、地震や火山活動が人々の生活に与える影響や災害から身を守る対策についての理解を身につける。 |
| | 1 2 | 7 月の見え方と太陽 | 月の形の見え方について、月と太陽の位置に着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、月の形の見え方の規則性についての理解や観察・実験に関する技能を身に付け、月の形の見え方について見方や考え方を養います。 |
| 3 学期 | 1 ～ 2 | 8 水溶液 | 水溶液について、溶けている物に着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質やはたらきの違いについての理解や実験に関する技能を身に付け、水溶液の性質やはたらきについて見方や考え方を養います。 |
| | 2 ～ 3 | 9 電気の利用 | 電気の性質やはたらきについて、電気の量などに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、発電や蓄電、電気の変換や利用についての理解や実験に関する技能を身に付け、電気の性質やはたらきについて見方や考え方を養います。 |
| | 3 | ○ 人の生活と自然環境 | 人の生活と自然環境の関わりについて、持続可能な人と環境との関わり方についての理解を身につける。 |

6年生「音楽」

【第6学年の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いあるものにしようとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 学 習 の ね ら い |
|---------|--------------------------------|---|
| 4 5 | 1 歌声をひびかせて心をつなげよう | ○音色、旋律、強弱などと曲想との関わりを理解して、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けます。 |
| 6 | 2 いろいろな音色を感じ取ろう 音の重なりを感じ取ろう | ○楽器の音色の特徴を生かした演奏の仕方や声の重ね方を味わいながら聴きます |
| 7 | 3 旋律の特徴を生かして表現しよう | ○旋律、リズム、フレーズや歌詞の内容と曲想との関わりを生かして表現したり響きのある歌声歌います。 |
| 9 | 4 いろいろな和音の響きを感じ取ろう 音楽会に向けて | ○和音の響きの移り変わり、短調と長調の日b器の違いなどを理解し和音に含まれる音を作って旋律を作ります。 |
| 10 ～ | 5 曲想の変化を感じ取ろう | ○歌詞の内容、速度、強弱、反復や変化などと曲想の関わりを理解して、どのように表現したらよいか考えを持ちます。 |
| 11 | 6 詩と音楽の関わりを味わおう | ○いろいろな楽器に親しんで音楽会練習をします。 |
| 12 | 7 日本や世界の音楽に親しもう | ○歌詞の表す情景を思い浮かべながら言葉や歌詞、旋律のまとまりを生かした歌い方を工夫して歌います。 |
| 1 | 8 音楽で思いを伝えよう | ○日本に古くから伝わる歌の特徴をいかしどのように歌うか意図を持ったり、いろいろな国の音楽のよさを見出して味わいながら聴きます。 |
| 2～ 3 | | ○曲想と歌詞の内容、旋律、強弱、音の重なりやフレーズとの関わりを考え、思いが伝わる表現を考えます。 |

【評価について】

- (1) 音楽のよさや美しさを理解して表現したり、音楽づくりをしたりしている。
- (2) ひびきのある声で歌ったり、曲想の特徴を理解して演奏する技能を身に付けている。
- (3) 音楽に主体的に関わり、音楽活動を楽しみながら表現したり、音楽を構成する要素を理解して聴いたりしている。

【学習の特色と言語活動の充実を図る工夫】

- ◆音楽の構成を理解して表現することを乐しみます。
- ◆伴奏に合わせて歌ったり、曲想の特徴をとらえて演奏したり歌詞の情景を思い浮かべながら歌ったりします。
- ◆友だちと互いに聴き合いながら曲のよさを見つけ、表現を考えます。

6年生 「図画工作」

【第6学年の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や考え方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 学 習 の ね ら い |
|----|---------------------|--|
| 4 | わたしのお気に入りの場所(選択) | ○五感を働かせて、自分でお気に入りの場所を見つけ、簡単なスケッチや感じたことや見つけたことを言葉でメモするなどして、表したいことへの思いを深め、構想を練ることをたのしみながら絵に表すようにします。 |
| 5 | 今の気持ちを形に | ○今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方法から見ながら自分のイメージにふさわしい形をどのように表すか考えてつくります。 |
| 6 | いろいろ、いろいろ | ○材料や用具のいろいろな使い方を繰り返し試し、さまざまな表し方を工夫しながら形や色の動きやバランスをとらえて表します。 |
| 7 | 木と金属でチャレンジ | ○異なる材料の特徴を生かし、いろいろな組み合わせ方を工夫していくことを通して、動きや興行き、バランスなどを意識しながら表していきます。 |
| | 入り口の向こうには | ○「入口」という言葉から、想像を広げ、入口の向こうの世界への思いをもって粘土で立体的に表すようにします。 |
| 9 | ゆらゆら、どきどき | ○用具を巧みに使いながら針金の形を思いのままに変化させたり、できた形を組み合わせたりしながら針金の特性を生かした表し方を工夫します。 |
| 10 | カット、ペタット、すてきな形 | ○はさみやカッターナイフを巧みに使い、積極的に色画用紙を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色による動きやバランス、鮮やかさなどを理解し、貼り方や重ね方を工夫して表すようにします。 |
| | きらめき劇場 | ○いろいろな材料を使って光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか積極的に考えて表します。 |
| 11 | 時空をこえて(選択) | ○行きたい時代や場所を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした世界をどのように表しているのか考えて表すようにします。 |
| 12 | みんなのお話始まるよ(選択) | ○これまでの経験をもとに協力して互いのアイデアを生かしながら友達とお話をつかって絵に表したり絵を通してお話を伝えたりすることを表します。 |
| | 学校へようこそ | ○材料や場所、空間の特徴とともに、そこに来る人の気持ちを考えることから発想を広げ、積極的に自分が表したいことを考えていきます。 |
| 1 | 龍を見る | ○作品のよさや表し方の違いを見つけることから、表されている龍の動きやバランスを理解するとともに設置場所との関係や表されてきた意味・背景を深く理解し楽しむようにします。 |
| | 墨から生まれる世界 | ○かすれやにじみなど墨による表現のたのしさを存分に味わい、さまざまな用具を工夫して適切に扱いながら積極的に新たな表現に取り組み、表現していくようにします。 |
| 2 | ひびき合う形と色を求めて(選択) | ○スチレンボードの特徴を生かして、身近材料の型押しやボードの分解・再構成などをして版をつくり、インクの混色・重色の効果を利用したり、ローラーの使い方を工夫したりしながら表現していくようにします。 |
| | バランスアンバランス(選択) | ○断熱材の形や軽さを生かして発想し、いろいろと組み合わせを試しながら表したいもののイメージを豊かに広げ、どのように表すか考えて表現していくようにします。 |
| 3 | わたしはデザイナー12才の力で(選択) | ○電動糸のこぎりなどこれまでに使った用具の経験を生かし、板材や角材をもとに、何かを入れて使ったたのしむものをつくるようにします。 |
| | 夢の新製品(選択) | ○自分の作品の発想や表し方の工夫を積極的に伝え合うとともに、互いの表現のよさや自分との違いを深く味わって表現していくようにします。 |

【評価について】

- (1) 造形的な視点について自分の感覚を通して理解するとともに、手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方について考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を深める。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようという態度を養う。

【学習の特色や工夫】

- ◆子どもの思いを大切にし、表現することを楽しみます。
- ◆身近素材を使っていろいろな方法で作品をつくります。
- ◆自分の作品のよさや友だちの作品のよさを見つけ、鑑賞します。

第6年生「家庭」

1 目標

【家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々とのかかわりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

2 学習内容

| 月 | 学 習 す る こ と | 学 習 の ね ら い |
|----|--|--|
| 4 | 1 生活時間をマネジメント ①どのように時間を使っているだろう ②時間の使い方に課題はないだろうか ①生活時間を工夫しよう | ◎生活の仕方を見直し、朝の生活の仕方や、家族とのふれあいの時間をくふうすることができるようにします。 |
| 5 | 2 できることを増やしてクッキング ①「ゆでる」「いためる」はどちらがうのだろう ②いためておかずを作ろう ②朝食に生かそう | ◎朝食をとることの大切さを理解できるようにします。 ◎朝食のおかず作りに必要な材料の選び方、購入の仕方を考え、朝食に合うおかずをつくることできるようにします。 ◎いためて加熱する調理の仕方やよさが分かり、炒める調理ができるようにします。 |
| 6 | 3 クリーン大作戦 ①なぜそうじをするのだろう ②知っているかな、そうじの仕方 ③身の回りを快適にしよう | ◎身の回りの汚れを調べ、今までの掃除のしかたを見直すことができるようにします。 ◎汚れに合った掃除の仕方を理解し、汚れに合うそうじの仕方を考え、工夫して掃除ができるようにします。 |
| 7 | 4 すずしく快適に過ごす住まい方 ①暑い日はどのように過ごしているのだろう ②すずしく快適な住まい方を知ろう③ エコ生活ですずしさアップを工夫しよう 5 すずしく快適に過ごす着方と手入れ ①どのような着方がすずしいのだろう ②暑い季節を快適にしよう ③快適な衣生活を工夫しよう チャレンジコーナー | ◎暑い日を快適に過ごすために、工夫していることに気づけるようにします。 ◎自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができるようにします。 ◎すずしい着方の特徴に気づき、日常着の手入れが必要であることや、衣服のボタンの付け方及び洗濯の仕方をわかるようにします。 ◎手洗いによる洗濯やすずしい着方・環境を考えた洗濯を工夫したりできるようにします。 |
| 9 | 6 生活を豊かにソーイング ①どのようなふくろを、どのように使っているだろう | ◎布を用いた生活に役立つ物に関心をもち、目的に応じて工夫してつくることができるようにします。 |
| 10 | ②目的に合ったふくろを作ろう | ◎製作の楽しさや活用する喜びを味わうことができるようになります。 |

| | | |
|-------------|---|--|
| 11 12 | <p>④作ったふくろで生活を豊かに</p> <p>7 こんだてを工夫して</p> <p>①どのような料理や食品を組み合わせると食べるとよいだろう</p> <p>②1食分のこんだてを立てよう</p> <p>③工夫して毎日の食生活に生かそう</p> <p>生活の課題と実践（課題・計画） チャレンジコーナー</p> | <p>◎栄養のバランスを考え、1食分の献立を立てることができるようにします。</p> <p>◎身近な食品を用いて調理計画を立て、簡単なおかずを作ることができるようにします。</p> <p>◎日常の食事の大切さに気付き、楽しく食事をしようとする意欲をもたせます。</p> |
| 1 2 3 | <p>生活の課題と実践（発表）</p> <p>8 共に生きる地域での生活</p> <p>①地域の人びととの関わりを見つめよう</p> <p>②地域でできることは何だろう</p> <p>③やってみよう・ふり返ろう</p> <p>9 持続可能な社会を生きる</p> <p>①生活と環境のつながりを考えよう②物やエネルギーをどう使うか</p> <p>③環境のことを考えた生活を続けよう</p> <p>2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう</p> | <p>◎自分や身近な人々の生活や環境とのかかわりに気付き、快適な生活の仕方を工夫することができるようにします。</p> <p>◎身近な人々のかかわりについて考え、気持ちの伝え方が工夫できるようにします。</p> <p>◎地域で快適に生活するための工夫について考え、実践しようとする態度を養います。</p> <p>◎自分や家族等の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方をわかるようにします</p> <p>◎環境に配慮し、生活をよりよくしようとするため、家族の一員としてできることを考えられるようにします。</p> <p>◎2年間の学習を振り返り、自分の成長を自覚し、よりよい生活の仕方を継承しようとするようにします。</p> |

3 評価について

家庭科では、次の3つの観点から子どもの学習の様子を評価します。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々とかかわりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

4 学習の特色や工夫

- (1) 生活的な自立能力を身につけ、生活に主体的にかかわろうとする態度を育てるため、調べ学習や試行学習などを多く取り入れるとともに、実際の・具体的な学習を重視し基礎・基本の定着を図っていきます。
- (2) 家族や家庭生活を見直す中で課題を見つけ、家族の一員としての自覚や生活に関わろうとする態度が育つようになります。

6年「体育」

【第6学年の目標】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

| 学期 | 学習すること | 学 習 の ね ら い |
|----|----------|--|
| 1 | バスケットボール | ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲーム をすること。 |
| | 表現 | いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動き で即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。 |
| | 短距離走・リレー | 一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。 |
| | 保健 | 病気の予防について理解することなど。 |
| | 水泳 | クロール、平泳ぎなどの行い方を理解するとともに、その技能を身に付ける こと。 |
| | フォークダンス | 日本の民踊 よう や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽 に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。 |
| 2 | 跳び箱運動 | 切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。 |
| | 短距離走・リレー | 一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。 |
| | 3種競技 | ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること 走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと 走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと |
| | 鉄棒運動 | 支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。 |
| | リレー | 一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。 |
| | 体力を高める運動 | 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、 動きを持続する能力を高めるための運動をする |
| | 体ほぐしの運動 | 手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりする |
| | ティーボール | ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲー ムをすること。 |
| 3 | 短縄・長縄 | 短なわや長なわを用いているいろいろな跳び方をしたり、なわ跳びをしながらボールを操作したりするなどして巧みな動きを高めること。 |
| | マット運動 | 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、 動きを持続する能力を高めるための運動をする |
| | 保健 | 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることなど。 |
| | ソフトボール | ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすること。 |

【評価について】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにしたか。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養えたか。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養えたか。

【学習の特色や工夫】

○1時間の授業の行い方

- ① あいさつ、健康観察・・・元気よくあいさつします。心と体の状態を確認します。
- ② 準備運動、慣れの運動・・・筋肉や関節の可動範囲や呼吸循環器の機能を高めます。
- ③ 主運動・・・それぞれのめあてにむかひ運動します。
- ④ 学習のまとめ・・・自己評価や相互評価を行い、学習の成果を確認します。
- ⑤ 後片付け、整理運動、あいさつ・・・協力して安全に片付けます。軽い運動で緊張をほぐします。

○今日の授業での自分のめあてをもたせて課題を解決する学習を進めます。(めあて学習)

○6年生の重点教材・・・短距離・リレー、跳び箱運動、平泳ぎ、バスケットボール

6年生「道徳科」シラバス

【第6学年の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

| 月 | 教材名 | ねらい |
|----|----------------|--|
| 4 | 自分らしく | 自分自身で自分のよさを見つめていくことを通して、短所を改善していこうとすると共に、長所をさらに伸ばしていこうとする意欲を高める。 |
| | 幸せをいのって織るじゅうたん | 他国の伝統文化を理解すると共に、その土地で暮らす人々にも関心を寄せ、相互に尊重する態度を養う。 |
| 5 | ひとみと厚 | ひとみの複雑な思いを考えることで、友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながらよりよい人間関係を築いていこうとする意欲を高める。 |
| | どんな心が見えてきますか | 法やきまりがなぜあるのかを理解し、自分の権利と義務、周りの人の権利と義務の双方のあり方を考えることにより、積極的に自らの義務を果たそうとする心情を育てる。 |
| | 小川笙船 | 人間がもつ強さや気高さに気付き、よりよく生きようとする心情を育てる。 |
| | マザー・テレサ | マザー・テレサの生き方を知り、思いを考える中で、働くことや社会に対し奉仕することの意義を理解し、公共のために役に立つことへの意欲を高める。 |
| 6 | 移動教室の夜 | 自由を楽しむには、集団としての規則やルールを守ることが大切であることを知り、規律ある行動を取ろうと判断する力を高める。 |
| | 温かい行為が生まれるとき | 相手の状況を想像して温かい思いと行為の関係を多様に考え、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。 |
| | 古きよき心 | 日本に受け継がれている伝統や文化の素晴らしさに気付き、日本人としての誇りをもってそれらを尊重し、さらに発展させていこうとする態度を養う。 |
| | チョモランマ清掃登山隊 | 環境保全活動について考えることで、自然の偉大さや、自然環境の大切さに気付き、持続可能な社会の実現に努めようとする心情を育てる。 |
| 7 | 心にふく風 | 礼儀は心と行動が一致してこそ、そのよさが広がるものであることに気付き、礼儀を大切に人と接していこうとする態度を養う。 |
| | 折り鶴にこめられた願い | 生命がこれまでのつながりの中にあるかけがえのないものであることに気付き、平和を通して生命を大切にしていこうとする心情を育てる。 |
| 9 | 帰ってきたクニマス | 自然や生き物の素晴らしさを実感をもって理解し、自然環境を進んで大切にしようとする態度を養う。 |
| | どれい解放の父 リンカン | よりよい社会とはどのようなものかを考えることにより、正義と公平さの重要性に気付き、差別を憎み、誰に対しても公平に接していこうとする態度を養う。 |
| | ロレンゾの友達 | 互いに信頼し、高め合いながら友情を深めると共に、本当の友達ならどうするかについての判断力を育てる。 |
| | のりづけされた詩 | 自分の弱い心からくる過ちに気付き、誠実に生きようとする心情を育てる。 |
| 10 | 食べ残されたえびになみだ | 物を大切にし、節度を守り、節制に心がける態度を養う。 |
| | おばあちゃんの指定席 | 相手の状況を想像して行動することの難しさやよさを自分自身の経験と重ねながら多様に考え、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。 |
| | はじめてのアンカー | 自分の成長を願い愛情をもって育ててくれている、父母や祖父母に尊敬や感謝の気持ちをもち、家族の一員であることを自覚して、互いに思いやり協力し合って、明るく温かい家庭を築いていこうとする心情を育てる。 |
| | 命を見つめて | 生命には終わりがあり、限りある生命だからこそ精いっぱい生きようとする態度を養う。 |

| | | |
|----|-----------------|---|
| 11 | 光をともした「魔法の薬」 | 真理を求めて探求を続け、よりよい生活を築いていこうとする考えを深める。 |
| | こだわりのイナバウアー | 自分の存在は、多くの人々の支え合いや助け合いによって成り立っていることを理解し、尊敬と感謝の念で応えていこうとする態度を養う。 |
| | 美を求めて 上村松園 | 人間のもつ心の崇高さとは何かを考え、美しいものや気高いものに接したときの素直な感動を大切にしようとする心情を育てる。 |
| | 会話のゆくえ | 物事の善悪についての的確に判断し、集団としての規則やルールを守ることが大切であることを知り、責任と規律ある行動を取ろうとする態度を養う。 |
| 12 | ブランコ乗りとピエロ | 「自分だけが正しい」と思わずに、相手の思いや考えを理解し、尊重していくことの大切さが分かり、自分とは意見や立場が異なる人に対しても、謙虚な心で接していこうとする心情を育てる。 |
| | 市民に愛される動物園を目指して | 希望をもつことの大切さに気付くと共に、くじけずに理想に向かって前進していこうとする実践意欲を高める。 |
| | 大みそかの朝に | 和食に込められた思いを理解し、日本の伝統文化についての考えを深める。 |
| 1 | 最後のおくり物 | 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることについて考えを深める。 |
| | その思いを受けついで | 生命のかけがえのなさを理解し、生命を尊重しようとする心情を育てる。 |
| | 鬼の銀蔵 | 自分の行為についての善悪の判断を的確に行い、良心に従って社会の規則を守ることが大切であることを知り、正しく責任のある行動を取るための判断力を育てる。 |
| 2 | 前を向いて | 自己中心的な思考から脱却して自分の役割に気付き、集団の中で自分の役割を精一杯果たそうとする態度を養う。 |
| | 差し出し続けた大きな手 | 相手の立場や意見を理解しようとし、共によりよい関係を築こうとする態度を養う。 |
| | 米作りがアフリカを救う | 坪井さんの、米作りを広めてほしいという思いを考えることで、他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めることへの意欲を高める。 |
| 3 | 青の洞門 | 人の行為の中にある気高さや崇高さを感じ取り、自分の中にある弱さを克服して、夢や希望などの喜びのある生き方をしようとする心情を育てる。 |
| | 栄光の架橋 | 高い目標をもってその達成に取り組んでいる人を参考にして、自分自身も高い目標をもち努力し続けていこうとする意欲を高める。 |

【評価について】

- ◆内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではないので、道徳においての数値の評価はしません。道徳の時間での発言、グループでの話し合いの様子、ワークシートやノートへの記入、役割演技、自己評価、相互評価などから、記述による評価としています。

【学習の特色や工夫】

- ◆道徳の授業は主に

- A 自分自身について（生活習慣・善悪の判断・誠実・勤勉・努力・責任・個性伸長など）
- B 人とのかかわり（礼儀・思いやり・感謝・友情・信頼・相互理解・寛容など）
- C 集団や社会とのかかわり（規則・公正公平・正義・家族愛・集団生活・伝統文化・国際理解など）
- D 命や自然・崇高なものとのかかわり（生命の尊さ・自然愛護など）

といった4つの内容項目に分類されています。

道徳の学びは学校の授業の時間だけではなく、家族で過ごす時間、また動植物と触れ合う機会もあると思います。小さな命も大切にすることや、公共のマナー・きまりはなぜあるのかなど、さまざまな体験を通して、ご家庭でも話し合っただけだと、今後の道徳の授業へと繋がっていくことでしょう。

授業では、場面絵や大型画面を使用して、児童の興味関心を深めたり、登場人物の心情を考えたりします。最後に自分のこととして、自己の生き方との関わりで考え、振り返りをします。また小グループでの話し合いや、ワークシートを使用したりして、自分の考えを深める工夫をしています。

6年生「英語」

【第6学年の目標】

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 主な学習のねらい |
|----|---|---|
| 4 | L1 We are friends. | ○友だちと自己紹介をしあうことができる。 ○一日の生活の時刻をたずねたり答えたりする言い方を理解することができる。 |
| 5 | L2 What time do you get up? | |
| 6 | L3 Where do you want to go? | |
| 7 | L4 Welcome to Japan. L5 I want to see the Milky Way. | ○行きたい国とその理由について、たずねたり答えたりする言い方を理解することができる。 ○日本のことを紹介する言い方を理解することができる。 ○夏休みにしたいことを発表することができる。 |
| 8 | L6 My Summer Vacation | ○夏休みの思い出を紹介する言い方を理解することができる。 ★職業や住んでいるところ、食べ物、スポーツの言い方を理解することができる。 ○世界の衣食住についての話を聞いて理解することができる。 ○好きなスポーツや選手、してみたいスポーツの言い方を理解することができる。 ○思い出に残る学校行事を紹介する言い方を理解することができる。 |
| 9 | ★世界で活躍する自分をしょうかいしよう。 | |
| 10 | L7 See the world. | |
| 11 | L8 What sport do you like? | |
| 12 | L9 My Favorite Memory | |
| 1 | L10 I have a dream. | ○将来なりたい職業を発表することができる。また、語句や短い英文を推測しながら読むことができる。 ○中学校の部活動や学校行事、教科の言い方を理解することができる。がんばりたい部活動や学校行事、教科を発表することができる。 ★感謝の気持ちを伝える言い方を理解することができる。 |
| 2 | L11 Junior High School Life | |
| 3 | ★感謝の気持ちを伝えよう。 | |

【評価について】

- 知識・技能
 - 思考力・判断力・表現力
 - 主体的に学習に取り組む態度
- 以上の3つの観点で評価します。リスニングテストやインタビューテストなどを行います。

【学習の特色や工夫】

- ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の活動をスパイラルに取り入れ、コミュニケーションをとる楽しさを感じられる活動を通して学びを深めていきます。
- ・中学校英語へのスムーズな橋渡しを意識し、アルファベットや簡単な単語や文を書く活動、発表等も多く行います。

【保護者のみなさんへ】

- ・普段から町中にある看板や案内の英語に触れ、授業で学習した表現を使って、親子で簡単な英語を楽しむ時間をもつことで、より深い学びにつながっていきます。
- ・英語は大切なコミュニケーションの手段の1つです。日常生活の中で、お子様との会話の際、相手の顔や目を見て話をする姿勢、聞く姿勢を意識してみてください。

4 学習の特色や工夫

- [1] 学級活動（1）では、予想される議題・題材を紹介しており原則としては、学年、学級で計画を立てたり、児童と一緒に計画（児童からの議題を取り上げて）を立てたりしながら活動していきます。
- [2] 実践したことや体験したことを自分の言葉でまとめ、発表し合ったり、報告文や記録文に表したりします。